

世界の屋根を歩く

グレート・ヒマラヤ・トラバース 5000 キロを歩く

重廣恒夫隊長と参加隊員に聞く

「グレート・ヒマラヤ・トラバース」とは、ヒマラヤ山脈の約5,000kmにおよぶトレイルです。ネパールの東端にあるカンチェンジュンガから、インド、パキスタンを横断してK2まで、8000m級の峰々14座の山麓を巡り、標高5000m級の数々の険しい峠を越えます。

重廣恒夫隊長一行は2020年に踏破をスタートし、今年、6年かけて7期にわたる400日間の旅を完了させました。この旅によって日本の登山史の先人たちの偉業を肌で感じることができました。

同時に、氷河の後退、氷河湖の決壊など、気候変動による地球温暖化がヒマラヤの自然環境に与える深刻な変化を目の当たりにし、山奥にまで進む開発の様子や、各国の国境地帯における社会情勢の変化を観察しました。この旅の全貌を講演とトークでお楽しみいただきます。



重廣氏

【登壇者略歴】

- ・重廣恒夫：1947年山口県徳山市（現周南市）出身。岡山理科大学入学と同時に岡山クライマーズクラブ(OCC)入会。1973年エベレスト南西壁登山隊に参加、その後2016年までに13回ヒマラヤ登山隊に参加。
- ・飯田 邦幸：日本山岳会東京支部長、GHT第3回～7回参加。
- ・轟 涼：日本山岳会埼玉支部事務局長、GHT第5回、第7回参加。
- ・柏 澄子(司会)：日本山岳会副会長、山岳ライター。

- 日時：2026年3月15日(日) 9時40分-11時50分
- 受付開始：9時15分
- 会場：立川市立女性総合センター(アイム)ホール
立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
(JR立川駅北口 陸橋で北へ徒歩7分)

- 定員：100名(先着順)
- 参加費：1,000円

- 申込み方法：日本山岳会
東京多摩支部 HP
(<https://jac.tokyo>)

講演会申し込みフォームQRコード ⇒



- 申込み期限：3月6日(定員に達し次第締切)
- 問合せ先：公益社団法人日本山岳会 東京多摩支部
総務委員会 soumu.tama.yama@gmail.com
こちらから申込みはできません